

令和6年度 第1回湖南省市における夜間学級の設置に関する有識者会議 議事録

司会進行：滋賀県教育委員会事務局

■日 時	令和6年5月24日（金）14：00～16：00
■対 象	有識者会議構成員 湖南省教育委員会担当者 県教育委員会担当者
■場 所	湖南省役所 西庁舎 大会議室

【司会】

時間が参りましたので、ただいまから、令和6年度湖南省市における夜間学級の設置に関する有識者会議を開催いたします。

皆様、本日はご多用のところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

それでは、開会にあたりまして、湖南省教育委員会 松浦加代子 教育長がご挨拶申し上げます。

【松浦教育長】

湖南省教育委員会教育長の松浦でございます。会議に先立ちまして、一言、御挨拶申し上げます。

令和7年4月、湖南省立甲西中学校で滋賀県初の夜間中学を開設する日が近づいてまいりました。湖南省が、夜間中学設置を考えましたのは、湖南省教育方針に掲げております、「たて・よこ・ななめにすき間なく、どの子どもももらさない支援体制」、「いのち・人権・一人ひとりが世の光に」の、「一人ひとり」には「子どもたち」だけでなく大人も含まれているからであります。昨年12月に開催しましたシンポジウムにおきましても、県下初の夜間中学について、ご期待の大きさを感じ取り、わたくしたちの思いを、しっかりとカタチにしていくことの重みを再確認できました。

また、今春には、甲西中学校でも開設準備委員会が立ち上がり、いよいよ、わが学校の学びの場の一つという気運が、藪下校長のもと、高まっています。

県教育委員会におかれましては、本市教育委員会とともに、夜間学級開設準備に当初より、変わりなくお取組いただいておりますこと、大変心強く感じております。

本日、ご出席の皆様には、それぞれのお立場から、夜間中学開設に向けて、忌憚のない御意見をいただくことができましたら幸いです。

以上、開会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【司会】

続きまして、有識者会議の委員を委嘱いたします。

<有識者委員委嘱> <有識者委員・事務局自己紹介>

別紙1：有識者会議名簿

当有識者会議は、有識者会議設置についての第4条第2項の規定により、座長が議事を進行することになっておりますが、まだ座長が選出されておられませんので、選出されるまでの間、事務局が進行を務めることといたします。

それでは、本有識者会議の趣旨等につきまして、湖南省教育委員会事務局 課長の青木から、説明をさせていただきます。

【青木課長】

<有識者会議趣旨 説明>

別紙2：湖南省における夜間学級の設置に関する有識者会議の設置について

【司会】

ありがとうございました。では続きまして、座長を選出させていただきます。

有識者会議の設置について 第4条に「会議の座長は互選により決定する。座長は会議の議事を進行する」と定めてあります。座長を決めさせていただきたいと考えますが、委員の皆様から、座長に推薦、立候補等ございますでしょうか。

【委員】

昨年度に引き続き、夜間中学の実情にたいへん詳しく造詣が深い 安部先生にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

【委員一同】

異議なし

【司会】

安部先生よろしいでしょうか。

では、座長は安部先生にお願いしたいと思います。安部先生、前方の座長の席にご移動いただきますようお願いいたします。

それではここからは、安部先生に進行をお願いいたします。

【座長】

ただ今、当有識者会議の座長をお引き受けすることになりました安部でございます。

湖南省における夜間学級の開設準備を円滑に進めるうえで、委員の皆様からの御意見は貴重なものとなりますので、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

それではまず、令和7年4月の開級に向けてのスケジュールおよび入学希望者説明会

について事務局より説明をお願いします。

【立岡指導主事・青木教諭】

＜事務局説明＞

別紙3（1～3ページ）参照：

- ・甲西中学校夜間学級開設に向けたスケジュール（案）
- ・令和6年度湖南省立甲西中学校夜間学級入学希望者説明会実施要項（案）

【座長】

ありがとうございました。

それでは、今の話をお聞きいただいて、今年度のスケジュールについて、また8月と10月の学校説明会についてお考えになられたことを、委員の皆様のそれぞれのお立場から、御意見をいただ^く時間とさせていただきたいと思います。

どなたからでも結構ですので、御発言をよろしくお願いします。

【委員】

入学希望者説明会の周知の予定はどのようになっているのでしょうか。

【事務局】

一次案内は滋賀県内の全ての市町教育委員会等に直接、配付いたしました。そこから、必要とされている方々に届くようにお願いをしています。入学希望者説明会の周知についても同様に考えています。有識者の方々にも配付いただきたく思います。

【座長】

口コミが重要です。対象者にチラシを配る際に丁寧な説明を加えてください。

【委員】

いただいたチラシをいろいろな所に貼りました。湖南省で育った外国籍の方々は、今でも湖南省に感謝の気持ちをもっています。その方々を通じて口コミで夜間中学のことが広がってほしいです。紹介動画等があれば、さらに多くの方に伝わると思います。

【委員】

外国人向け情報紙の7月号に入学希望者説明会について10言語に翻訳したものを掲載する予定です。ホームページにも載せる予定をしています。

【委員】

授業料が無償であることを伝えることで、生活保護世帯や一人親家庭の対象者も安心して通えることができると思います。在学中の生活は、福祉でも保障されているといっ

た文書を作成してもよいのではないかと考えています。それと広報する際に、隣接する自治体には直接持って行き、思いを伝え、必要な方に届くようにしていただきたいと思います。

【事務局】

入学希望者説明会の二次案内については、必要に応じて、手渡しでの配付を検討しています。

【委員】

入学希望者説明会はシンポジウムと同様、多くの方が注目されているかと思います。体験授業については、多くの方が見ている中での実施する可能性もあります。人目を気にして、体験授業に参加したくても、参加できない方へ配慮が必要ではないかと思います。

【座長】

体験授業への参加はできなくても、授業の様子は見たいという方も多くおられる可能性があります。体験授業開催については、慎重に進めていく必要があると思います。体験授業ではなく、他都市の夜間学級の授業の様子を放映するなどしてはどうでしょうか。

【事務局】

いただいた御意見を参考に検討していきます。

【委員】

体験授業については、「希望者のみ」のような記載をしてはいかがでしょうか。あと、終了時刻についても記載されたほうがよいと思います。

【座長】

改修工事中に入学希望者説明会を開催することになりますが、校舎見学は、どのように行う予定ですか。

【事務局】

改修工事が終了しているところから見ていただく予定です。

【座長】

入学希望者説明会の対象者はどのような方ですか。

【事務局】

原則としては、入学希望者もしくはその関係者の予定です。

【委員】

入学希望者説明会の二次案内の多言語版についてですが、滋賀県の外国籍の住民の数を参考にベトナム語、ポルトガル語、中国語を作成予定ということですが、ベトナムの方の多くが技能実習生および日本の就労ビザにおける「技術・人文知識・国際業務」と言われる人たちです。外国籍の定住者の数も参考にするとよいのではないのでしょうか。

【事務局】

16歳以上のデータも参考にしながら、検討していきます。

【座長】

1 言語につき 1 枚ではなく、多言語を 1 枚にすると配付の際に効率がよいのではないかと思います。

活発な意見交流ありがとうございました。ここで、10分間の休憩を取りたいと思います。再開は14時55分とさせていただきます。

<休 憩>

それでは、再開いたします。

では、入学までの流れについて事務局より説明をお願いします。

【立岡指導主事】

<事務局説明>

別紙3（4～7ページ）参照：

- ・甲西中学校夜間学級入学までの流れ（案）
- ・経歴書（入学希望届）（案）

【座長】

ありがとうございました。

それでは、今の話をお聞きいただいて、夜間学級への入学までの流れについて、委員の皆様のそれぞれのお立場から、御意見をいただく時間とさせていただきたいと思います。

どなたからでも結構ですので、御発言をよろしくお願いします。

【委員】

入学希望者に対する入学の許可についてですが、対象の方に入学を勧めるときに、ど

ういうときに入学できないのかを聞かれることもあると思います。そのあたり入学の許可についてお聞きしたいです。

【事務局】

基本的には、入学資格に該当する方は、入学していただけます。

ただし、定員を超える希望があった場合には、入学を待機していただくことも出てくると考えています。

【座長】

希望する方が多く、施設に収容しきれない場合には、それなりに順番を決めて待機していただいたりする必要があるということですね。

【委員】

能力や人柄で判断されるわけではないというふうに考えてよいでしょうか。

【座長】

日本語の勉強だけを目的で入学を希望する方もいらっしゃいます。一定程度の審査は必要ではないかと思います。

【委員】

原級留置を恐れて入学に二の足を踏むことや、原級留置することで他の入学希望者の定員を奪ってしまうことになるのではないかとということを心配します。

【事務局】

一般的に原級留置と聞くと、マイナスのイメージを持たれることも多いかもしれませんが、生徒本人と相談した上で、進級しない方が好ましいと判断した場合に原級留置することができるということであり、本人の意欲をそぐような形にはならないようにしたいと考えています。

【座長】

この件については、昨年度も話題になりましたけれども、成績が足りないので原級留置するというよりは、生徒の方がどうしても勉強のペースに追いつかないので、もう1年やりたいという希望に対しての措置という理解であったと思います。定員についてもあえて設けていないことで柔軟に対応していくということであったと思います。

【委員】

今年度はチラシを作成するなどの周知を計画されていて、皆さんに知らせようと大変頑張っておられることが伝わってきますが、令和7年度以降の周知についてはどのような

に予定されているのでしょうか。

【事務局】

来年度以降の周知については現在検討中です。来年度以降の周知も引き続き大切になってくると考えております。

【座長】

先ほどから、入学希望者が多数いらっしゃる場合の対応の話になっていますが、希望者が少ないということも考えないといけないと思います。そういったときに柔軟に対応できるようなルールにしておいた方がよいと思っています。場所や人員に余裕があれば、随時受け入れることを考えてもよいと思います。

【委員】

偏りなく周知していくにはどのようにするとよいのでしょうか。中学生や地域の方に知らせておいたほうがよいのではないかと思います。また、広報だけでなく、地域の回覧でも周知するといったこともやっていただいて皆さんに知ってもらう方がより広く夜間中学について理解をしていただけたと考えます。口コミは大事だと思いますが、つながりが少ない方にも知らせが届くような方法を何か考えてもらえたらと思います。

【座長】

必要とされている方の支援者への周知が大切となります。事務局の方で検討していただきたいと思います。

【委員】

夜間中学は、外国籍の方にとれば非常にありがたいし、日本語も学びながら、勉強の方もしていけるということで、それこそ口コミで職場の友達と一緒にしてみようとなる可能性がある気がしているのですけども、例えば形式卒業者の方たちが一緒に友達に行くというのはあまりないと思います。口コミで広がるというのはその通りだと思うので、家庭児童相談室等や福祉部局等からのサポートが必要な気がしています。

【座長】

おっしゃる通りです。そこはまた関係機関に啓発していくと良いと思います。あと、週2日程度の登校でよいと思って希望され、入学を許可するのが難しいということも考えられます。9教科の学習を行うことや毎日登校する必要があるといった記載は、入学希望者説明会の二次案内に必要になってくるのではないのでしょうか。

【委員】

引きこもりや不登校を体験した方の多くが学校とか対人関係の中で、つらい思いをさ

れています。年齢を重ねるほど行動が慎重になるので、目で見ても、ここは自分にとって安心かどうかということを非常に吟味されるだろうと思います。開校前の説明だけで入学を希望できるかということ、それほど彼らは軽い過去を背負っていないところもあります。初年度に何人入学するかということもとても大事なことですけど、周知を続けていくことが潜在的なニーズを掘り起こしていく上で大切になると思います。開校してずいぶん経ってからようやく、入学にたどり着ける人もいないのではないかと思います。事務局の方と一緒に、そういったところに周知していきたいということと、今年から来年度開校までだけでなく、長い期間でニーズを掘り起こすと思っておかないといけないと考えています。

【座長】

その地域によってずいぶん実態が違うので、開校してみて、それに合わせて少しずつカリキュラムを変えながら、受け入れていくということが大事だと思います。

【委員】

経歴書について、配慮してほしいこととして、経済的な内容も記載してよいというようにしていただくと、経済的な面で心配されている方にとってありがたいのではないかなと思います。

【座長】

チラシ等にも、公立学校なので授業料は無償であることを記載していただくとよいのではないのでしょうか。

経歴書については、書くことの負担を減らす意味でなるべく最小限にして、今お話いただいたようなことは面接で確認するとよいと思います。

【委員】

経歴書について、書くところは少ないとはいえ、外国籍の方に限らず、手で書くことが難しい方もいらっしゃると思います。パソコンやスマホで入力することに慣れている方もいらっしゃるのでは、様式をダウンロードできるようにしていただく等の検討もしていただけないのでしょうか。

それともう一つは、国籍だけでなく、在留資格を把握しておくことで支援がしやすいのではないかと思います。国籍まで聞かれるのであれば、在留資格も把握される方がいいのかなと思いました。

【座長】

手書きにも対応できるよう様式をダウンロードできるようにして、電子ファイルを用意するのはいかがでしょうか。また、在留資格の欄を設けない場合は、面接の質問項目に必ず入れておくということによいのではないのでしょうか。

あと代筆者の方がいらっしゃる場合に代筆した方の名前を書く欄があるとよいと思います。

では最後に、夜間学級について、教育課程や行事等について事務局より説明をお願いします。

【青木教諭】

＜事務局説明＞

別紙3（8～9ページ）参照：

- ・教科等年間授業時数配当表（案）
- ・日課表および年間授業日数（案）

【座長】

ありがとうございました。

どなたからでも結構ですので、御発言をよろしくお願いします。

【委員】

通常コースと日本語コースが分かれています。実技教科と一緒に授業を受けるのでしょうか。2年生からは通常コースにするのか、日本語コースにするのかを悩む方もでてくるのではないのでしょうか。

【事務局】

現在、検討中ですが、面談等を通じて、日本語習得への不安等を聞いて決定していきたいと考えています。実技教科につきましては、コース関係なく一緒に学ぶことを想定しております。日本語指導につきましては、先進地等を参考にして、どのように指導していくかを検討していきます。

【座長】

私が関わった夜間中学では、日本語が十分ではない方については日本語を習得してから入学するよう指導していた時代もありました。しかし、現在は、入学してから集中的に日本語を勉強して、教科の学習を積み上げていくことが主流となっています。

教科書については無償ですが、日本語の習得に関する教材は有償です。それらを図書室に揃えて使用することで、経済的な負担を少なくするといった配慮が必要です。

委員の皆様には、形式卒業者の学び直しの場が、湖南省にできるということをいろいろな場でお伝えいただければと思います。

【委員】

学校をサポートする立場であるスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー

にも、夜間中学の開設について再度、周知する必要があると思います。また、湖南省市以外の地域にも広く周知するために、滋賀県教育委員会の支援についてもよろしくお願いします。

様々な御意見をありがとうございました。本日委員の皆様からいただきました、御意見御助言等を参考に、夜間学級の開設に向けた準備をすすめていただきますようお願いいたします。

それでは、進行を事務局にお返しいたします。

【司会】

安部先生ありがとうございました。

委員の皆様、活発な意見交流をありがとうございました。

皆様からいただきました御意見御助言を参考にして、夜間学級の設置準備を進めてまいります。

では、その他連絡事項を申し上げます。

次回、第2回の有識者会議は、10月25日（金）の開催を予定しております。詳細につきましては、改めてメールにてお知らせさせていただきます。何卒出席をたまわりますようお願いいたします。

なお、先ほどの事務局説明でもありましたように、第2回有識者会議は、学校説明会と同日開催としております。本日協議いただきました学校説明会の様子を、有識者委員の皆様にも見ていただきたいと思います。

それでは、これをもちまして、令和6年度湖南省市における夜間学級の設置に関する有識者会議」を閉会いたします。長時間にわたり熱心に御意見をいただき、厚く御礼申し上げます。

本日はありがとうございました。